



エース伊禮 意地の得点

延長2点勝利たぐり寄せる

取ったり取られたりでの展開となった決勝後半の残り15秒、男子沖縄選抜の伊禮颯雅が同点の場面でシュートを外した。「自分のせい

で延長に入った。エースとして次は決めてやろう」と気持ちを高めた。

延長でも6人での攻撃がうまくいっていないと痛感

するや、友利彬彦監督に7人攻撃を進言した。敢行し、自らへのマークがずれた瞬間を逃さず突いて2得点。勝負どころでのエースの働きがチームを勢いづけ、勝利をたぐり寄せた。

3月の全国選手権、8月の全国体育大会、そして今大会と3度目の栄冠に輝いた。

た。「流れを持っていかれて苦しかったけど、延長の末に勝つことができた。JOC杯の優勝が一番うれい」と笑顔。主将としてチームをけん引したが、「みんながキャプテンのよう

で、チームメイトに感謝したい」と気配りも忘れなかった。

空高く飛んで活躍するようになったの願いを込めて名付けられた、颯雅(そあ)の名前の通りに快拳達成の原動力となった。「次は高校で頑張りたい。1対1の動きも守備もフィジカルも、成長したいことはたくさんある」と力を込めた。